



令和6年度 第1回平塚市国民健康保険 運営協議会

令和6年7月18日（木）

平塚市健康・こども部保険年金課



次 第

1 開会

2 議題

(1) 令和5年度平塚市国民健康保険事業特別会計決算見込み(P4)

(2) ・令和6年度平塚市国民健康保険資格給付取組方針(P24)及び
医療費適正化への取り組み(P29)

・令和6年度平塚市国民健康保険税収納対策取組方針(P41)

3 その他

4 閉会



今年度の主なスケジュール(予定)

2024年 **7月18日** **第1回平塚市国民健康保険運営協議会**
令和5年度決算見込みと令和6年度取組方針の説明

11月中下旬 仮係数に基づく令和7年度国保事業費納付金と標準税率の
提示(神奈川県 → 平塚市)

11月21日 **第2回平塚市国民健康保険運営協議会**
仮係数に基づく令和7年度国保事業費納付金・標準保険税率につ
いて説明

2025年 1月初旬 確定係数に基づく令和7年度国保事業費納付金と標準税率
の提示(神奈川県 → 平塚市)

1月16日 **第3回平塚市国民健康保険運営協議会**
予算案の説明、税率について承認



議題2（1）

令和5年度平塚市国民健康保険事業
特別会計決算見込み

【全体】

- ①団塊世代の後期高齢者医療制度への移行や、短時間労働者に対する社保適用拡大の影響から、R5も被保険者数が大きく減少。
- ②1人当たり保険給付費の増による保険給付費の増(+1億円)や、国民健康保険事業費納付金の増(+2.2億円)により、決算規模は歳入が約255億円(前年度比+1億円)、歳出も約255億円(同+2.4億円)と前年度よりやや拡大。
- ③形式収支は約800万円の黒字。基金繰入金や前年度繰越金を除いた単年度収支は1.5億円の赤字。さらに一般会計からの法定外繰入金を除いた実質収支も3.5億円の赤字。
- ④保険税率上昇緩和のため、平塚市国民健康保険基金を5,000万円取り崩した一方、同年度中に3,000万円を積み立て、県交付金の交付基準となる前年度保険税調定額の5%以上の基金額を確保。

(1)－① 被保険者数の推移(各年度3月31日時点)

(単位:世帯)

年度	世帯数	前年度比
R1	36,379	-616
R2	36,141	-238
R3	35,583	-558
R4	34,186	-1,397
R5	33,165	-1,021

(単位:人)

年度	被保険者数	前年度比
R1	56,395	-1,719
R2	55,410	-985
R3	53,625	-1,785
R4	50,438	-3,187
R5	48,220	-2,218

(1)－② 決算規模の推移

【歳入】

年度	決算額 (千円)	前年度比 (千円)
R1	26,346,568	-829,908
R2	24,978,029	-1,368,539
R3	26,137,757	1,159,728
R4	25,396,620	-741,137
R5	25,501,069	104,449

【歳出】

年度	決算額 (千円)	前年度比 (千円)
R1	26,058,737	-906,834
R2	24,788,286	-1,270,451
R3	25,908,321	1,120,035
R4	25,253,418	-645,903
R5	25,492,753	239,335

(1)－③ 収支の経緯

(単位: 千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
形式収支	287,831	189,743	229,436	143,202	8,316
(基金繰入)	150,000	0	0	33,000	50,000
(繰越金)	210,905	287,831	189,743	229,436	143,202
(基金積立金)	32,000	157,124	0	50,000	30,000
単年度収支	-41,074	59,037	39,693	-69,234	-154,885
(法定外繰入)	269,238	192,000	192,000	142,000	192,000
実質収支	-310,312	-132,963	-152,307	-211,234	-346,885

(1)－④ 平塚市国民健康保険基金の推移

(単位:千円)

年度	前年度末 現在高	当該年度増減額		当該年度末 現在高
		取崩	積立	
H30	3,923	0	270,000	273,923
R1	273,923	150,000	32,000	155,923
R2	155,923	0	157,124	313,047
R3	313,047	0	0	313,047
R4	313,047	33,000	50,000	330,047
R5	330,047	50,000	30,000	310,047

※【R5基準】 R4保険税調定額:5,741,357,200円×5%＝287,067,860円

※【R6基準】 R5保険税調定額:5,643,421,400円×5%＝282,171,070円



【歳入】

①国民健康保険税(5,502,851千円／対前年度-58,020千円)

(A3用紙「令和5年度決算総括表」①参照)

- ・収納率は92.91%(対前年度-0.01ポイント)
- ・R5賦課で使用するR4総所得額の減により、調定額が減。

②県支出金(17,614,041千円／対前年度106,342千円)

(A3用紙「令和5年度決算総括表」②参照)

- ・歳出「保険給付費」の増に伴う普通交付金の増(+68,253千円)
- ・各種特別交付金はトータルで38,089千円の増(次ページ参照)

(県支出金決算額の内訳)

(単位:千円)

		R5決算額	対前年度	増減要因
普通交付金		17,207,306	68,253	歳出「保険給付費」の減
特別交付金	保険者努力 支援分	104,654	8,517	①特定健診インセンティブ事業 ②第三者求償の取組 の評価点獲得による増 など
	特別調整 (市町村分)	108,932	48,116	①医療情報システムの更改分の増 ②制度改正システム改修分の増 など
	県繰入金 (2号分)	146,614	-24,091	①保険税収納率(滞繰分)の減 ②レセプト点検財政効果額減少 など
	特定健診等 負担金	46,535	5,547	①前年度収入過不足分の調整による増



【歳入つづき】

③繰入金(2,148,487千円／対前年度＋128,077千円)

(A3用紙「令和5年度決算総括表」③参照)

【他会計繰入金】(2,098,487千円／対前年度＋111,077千円)

- ・保険税収入減に伴う、「その他一般会計繰入金」の増(＋50,000千円)
- ・保険税軽減増に伴う、「保険基盤安定繰入金」の増(＋41,121千円)
- ・職員給与費増に伴う、「職員給与費等繰入金」の増(＋11,389千円)
- ・R5新設の「産前産後保険料繰入金」による増(＋564千円) など

※各内訳は次ページ参照

【市国民健康保険基金繰入金】(50,000千円／対前年度＋17,000千円)

- ・R5保険税率設定にあたり、税率上昇緩和のための基金取崩しによる増

(他会計繰入金決算額の内訳)

(単位:千円)

法定 法定外	繰入金名称	決算額	対前年度	増減要因
法定	基盤安定繰入金(保険税軽減分)	843,989	40,964	軽減額の増
	基盤安定繰入金(保険者支援分)	482,425	157	減額対象者数の増
	未就学児均等割保険料繰入金	13,575	413	軽減額の増
	職員給与費等繰入金	452,870	11,389	歳出「職員給与費」の増
	出産育児一時金等繰入金	40,141	8,610	出産育児一時金の増
	国保財政安定化支援事業繰入金	72,922	-1,021	被保数の減
	産前産後保険料繰入金	564	皆増	R5～新設
法定外	その他一般会計繰入金	192,000	50,000	歳入不足による増